

令和7年10月16日

令和7年フクラギ(ブリ当才魚) 漁況の見通し

今年秋期(9～12月)のフクラギ漁獲量は、平年(過去10年の
平均漁獲量：654トン)を上回ると予想される。

令和7年フクラギ(ブリ当才魚) 漁況の見通しをとりまとめました。詳細については別紙をご覧ください。

令和7年秋期のフクラギ（ブリ当才魚）漁況の見通し

今年秋期（9～12月）のフクラギの漁獲量は、平年（過去10年の平均漁獲量：654トン）を上回ると予想される。

「根拠となった情報」

① 8月の富山県のツバISO、フクラギの漁獲尾数

今年8月の富山県のツバISO、フクラギの漁獲尾数は34万尾（漁獲量102トン）と推定された。1997年以降では、8月の漁獲尾数が多いと、9～12月のフクラギの漁獲尾数が多くなる傾向がある。前記の関係から9～12月には143万尾（過去10年平均98万尾）が漁獲されるものと計算される。尾叉長から推定された月別魚体重量の過去10年平均（9月529g、10月662g、11～12月835g）と、近年の月別の漁獲尾数割合から漁獲量を計算すると、平年（過去10年の平均：654トン）を上回ると予想される。

② 8月及び9月の富山湾内の水温

8月及び9月における富山湾内の表層から50m層までの平均水温が23℃を下回ると、9～12月の漁獲量が1,000トンを下回る確率が高い傾向がある。今年8月の平均水温は26.4℃（過去30年間の平均24.6℃）、9月の平均水温は28.1℃（過去30年間の平均25.6℃）であり、水温条件からみると、今漁期（9～12月）が極端な不漁になる確率は低いと考えられる。

【参考情報】

7、8月の近隣府県の定置網によるツバISO、フクラギの漁況
福井県および京都府は平年を下回り、石川県は平年並だった。

